

平成 29 年度岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会司書部会研修会合同研修会
平成 29 年度第 3 回（第 227 回）備中地区司書部会 議事録

日時：平成 29 年 10 月 12 日（木） 10：00～16：00

場所：岡山県立総社高等学校

参加：24 名

1. 開会

2. 協議連絡

■ 高教研学校図書館部会備中支部事務局より

- 読書感想文集はできれば各校 3 冊以上の購入をお願いしたい。
- 読書週間（10/27～11/9）資料、読書感想画資料配布

■ 司書部会理事会より

- 7/26 研修会お礼

■ ネットワーク研究委員会より

- 「ネットワーク研究委員会」の位置付けや組織について見直しをしたい。
- 図書館システム統一について、「学校図書館システム検討会」（ネット研の下部組織的な位置づけ）で検討を進める。
- “アクティブラーニング”について、教員と一緒に対応を考える。
“深い学び”に対応できるよう、図書館も資料や授業連携の準備を進める。

■ その他

- ネットワーク分離の状態、生徒のデータをいれるときどうしたらよいか。
◇ この件については、悩みや相談が多いのではないかと。県の統一システムとなる
ときにも、行政系・公関係の問題は課題となる。

3. 学校図書館部会研究協議会プレ発表：「多様性のある図書館利用」

■ 全体のテーマの提示と最後のまとめがあったほうが良い。

■ 写真・スライドについて

- 写真の明るさやコントラストを調整。もう少し写真を大きくした方が良い。
- 画像の上に、図形や文字が重なり見えにくいところがある。
- スライドの記述が説明と重なっているため、省略・画像を拡大してはどうか。
- スライドに記述があると、後で見やすく良い。つぶやきのような記述がユニーク。

4. おすすめ本の紹介

■ ネットセキュリティの本

■ とっつきにくい主題の書架で面出しすると「棚が映える」本

■ フリーテーマ

- 次回テーマ：「年中行事」「フリーテーマ」

5. 研修①「コンセプトを考えよう」

- 年間テーマ・これまでの研修を踏まえた今後の展開説明、事例発表
- ワーク（図書館のコンセプトカラーを考える）、共有

6. 研修②「棚を作ろう・魅せよう」 作業、共有

- 実際に総社高校図書館の棚を使い、コンセプトに合った棚づくりを行う。
- 歴史、科学読み物、エッセイ、外国文学（2か所）の5グループ
- 展示グッズ（100円均一）を活用し、配色や面出しの方法を工夫する
- Before/After をプロジェクターで投影、各グループからのコメントで共有

- 各班のポイント

歴史	書庫のエリア分け、世界史＝エキゾチック、日本史＝サインにラストを添えて
科学読み物	つっぱり棒を本立てに使用。電球やビーカーを配置
エッセイ	書架の見通しが悪かった⇒上段の全集を抜いて明るく。人の写真が表紙の本を集めて面出しし、エッセイコーナーであることがわかるように
外国文学1	ディスプレイ用に空間確保、英字新聞と季節もののグッズを配置
外国文学2	ディスプレイ用に空間確保、面出しの本のイメージに合う英字新聞の一面を背面に飾った。スケッパー（調理器具）は見出しがわりに

研修アンケートより

- ・講義と実習の組み合わせは今後も継続していくと良い。
- ・わかりやすかった。何のために環境整備をするのかという点を押さえられているのが良い。
- ・古い本の除籍の必要性についてのスライド（書庫の本に新刊混ぜても気付かない）などとても参考になった。
- ・ワークシートは事前に記入したものを持参し、グループ内で1人ずつ発表しディスカッションすれば、もっと掘り下げた意見交換ができるのではないかと思う。
- ・コンセプトへのコメントはもっと書き込んでほしかった。
- ・コメントをいただき、改善点を知れた。各校の工夫ある取り組みを知れた。
- ・図書館の「色」について考えたことがなかったので、新鮮だった。（が、本が目立たなくなったりしないのだろうか）
- ・自校のキャッチコピーを考えるのは、難しく考えすぎて時間がかかった。何を重視するかという視点で学校ごとに特色が出ていて面白かった。前任者が作った雰囲気（コンセプト）を合わせていくのか変えていくのかという場合では迷うなと思った。
- ・実際に作業ができて、大変参考になった。グループでできたので、同じ材料なのにそんな工夫ができるのか！と発見があり楽しかった。
- ・お手軽な100均グッズを使って、こんな素敵な展示ができるとは…驚きです。時間もちょうど良かった。自校の棚づくりに役立てたい。